

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども発達支援POSC		
○保護者評価実施期間	R7年10月1日		～ R7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年10月1日		～ R7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職（PT・OT・ST）が配置されていて、個別、集団の療育を実施している。	利用児の日々の様子をお手帳等を通じて保護者へ連絡をしている。また個別の療育関係を通じてお子さまの成長が分かるようにしている。 療育に関する相談や関係機関とのやり取りが必要な際は、その都度計画して実施している。 個別でアセスメントを実施して発達段階に合わせた支援を実施している。	今後も、利用児が安心して利用が出来るように、保護者とこまめな連絡をとり、信頼関係を築きながら、保護者会等も実施して、悩みや困りなど相談できる事業所を目指します。
2	医療的ケア児の受け入れもしている。	看護師による日々の体調管理を行い、利用の際には保護者と連絡、報告を行っています。	利用児が安心して過ごせるように、衛生管理や感染症拡大防止に努めます。また、家庭内でもできるような感染対策の情報を発信していきたいです。
3	広い敷地があり、季節に応じた活動ができる。	土曜日、祝日や長期休暇には利用児が楽しく過ごせるような活動を実施しています。また、季節に応じた、イベントを計画し、感情が育まれるような支援をしています。 外部講師をお招きしたり、地域の催し物に参加し、幅広い支援が展開できるように取り組んでいます。	広い敷地を利用し、地域の方や保護者にも来所していただけるようなイベントを今年は実施していきたいです。 科学の実験や交通ルール、書道など地域から外部講師を招いて実施し、利用児に本物に触れてもらう中で、豊かな感性や知識を育むことを目的に行っています。今後も地域との関わりの中でインクルーシブの視点を大切にしながら支援に取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが少ない。	現状、事業所内での活動なこともあり、地域に向けた活動が出来ていなかった。	地域の児童部会に積極的に参加し、地域の他事業所と共に、地域の祭りやイベントに参加していきます。
2	保護者間の交流が少ない	保護者会等、保護者間で交流できる機会がすくなかった。感染症の拡大のリスクもあり、積極的に交流する機会を作っていなかった。	今後、保護者を交えた勉強会や、活動を通し、楽しめるイベントを計画していきます。
3			